2018 年 4 月 25 日

PhillipCapital
Your Partner In Finance

フィリップ証券株式会社

ユナイテッド･トラクターズ（UNTR）

2018/12 期 1Q は 68.6%の増益、1-3 月の国内新車卸売販売台数は商用車が前年同期比 23.4%増

インドネシア | 鉱業関連サービス | 業績フォロー

BLOOMBERG UNTR:IJ | REUTERS UNTR.JK

- 2018/12 期 1Q（1-3 月）は、売上高が前期比 39.0%増の 19 兆 110 億 IDR、売上総利益が同 55.9%増の 4 兆 4,530 億 IDR、純利益は同 68.6%増の 2 兆 5,310 億 IDR であった。
- 2018/12 通期の市場予想は、売上高が前期比 11.7%増の 72 兆 950 億 IDR、純利益は同 22.5%増の 9 兆 680 億 IDR である。
- インドネシア自動車製造業者協会によると、2018 年 1-3 月期の国内の新車卸売販売台数は、前年同期比 2.9%増の 29 万 1,920 台。そのうち商用車は同 23.4%増の 7 万 774 台と大幅に伸びた。

What is the news?

2018/12 期 1Q（1-3 月）は、売上高が前期比 39.0%増の 19 兆 110 億 IDR、売上総利益が同 55.9%増の 4 兆 4,530 億 IDR、純利益は同 68.6%増の 2 兆 5,310 億 IDR となった。全事業セグメントで売上が伸びたほか、利益率が改善した。売上高総利益率は 23.4%と前年同期の 20.9%から改善した。セグメント別売上構成比は、採掘請負事業が 42%と大半を占め、次いで建設機械事業が 36%、炭鉱事業 18%、建設事業が 4%であった。

事業セグメント別の売上高は、建設機械事業が、同 43.2%増の 6 兆 8,620 億 IDR。プランテーション向け、鉱業向けの機械の需要が強かった。販売台数は、コマツが同 38%増の 1,171 台。コマツ製品の重機市場におけるマーケットシェアは 34%と首位を維持した。スカニアの製品は同 4%増の 266 台、UD トラックスなどその他のブランドは同 70%増の 202 台であった。交換部品やメンテナンス・サービスの売上高は、同 34%増の 2.2 兆 IDR となった。採掘請負事業は、同 26.3%増の 7 兆 9,540 億 IDR。石炭採掘量が同 6%増の 2,650 万トン、剥土量が同 22%増の 2.07 億 bcm となった。炭鉱事業は、同 66.2%増の 3 兆 4,600 億 IDR。石炭の取引量の減少により石炭販売量は同 36%増の 260 万トンとなった。2017/3 に買収した子会社の SMM は、中部カリマンタン州で採掘権を持ち、2017 年後半に商業生産を開始した。建設事業は、売上高が同 45.1%増の 7,340 億 IDR、純利益が同 27%増の 390 億 IDR だった。

How do we view this?

2018/12 通期の市場予想は、売上高が前期比 11.7%増の 72 兆 950 億 IDR、純利益は同 22.5%増の 9 兆 680 億 IDR である。インドネシア自動車製造業者協会（ガイキンド）によると、2018 年 1-3 月期のインドネシア国内の新車卸売販売台数は、前年同期比 2.9%増の 29 万 1,920 台。そのうち乗用車が同 2.3%減の 22 万 1,146 台と減少したのに対し、トラックやバス、ピックアップ、ダブルキャビンなどの商用車は同 23.4%増の 7 万 774 台と大幅に伸びた。インドネシアは世界の商用車市場の中でも特に市場規模が大きく、中長期的にも大きな成長が見込まれる。

業績推移　※参考レート 1IDR=0.0078円

事業年度	2015/12	2016/12	2017/12	2018/12F	2019/12F
売上高(十億IDR)	49,347	45,539	64,559	72,095	80,154
純利益(十億IDR)	3,853	5,002	7,403	9,068	10,111
EPS(IDR)	1,033.00	1,341.00	1,985.00	2,458.35	2,748.59
PER（倍）	36.69	28.26	19.09	15.42	13.79
BPS(IDR)	10,165.78	10,954.04	12,161.08	13,659.21	15,430.46
PBR（倍）	3.73	3.46	3.12	2.77	2.46
配当(IDR)	691.00	536.00	675.00	996.67	1,144.37
配当利回り（%）	1.82	1.41	1.78	2.63	3.02

（出所：会社公表資料をもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg）

配当予想（IDR）	996.67	（予想はBloomberg）
終値（IDR）	37,900	2018/4/24

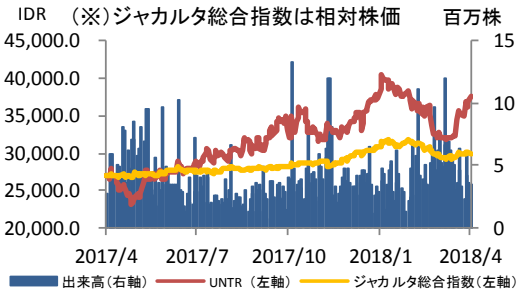
会社概要

1972年設立。インドネシア最大の建機販売会社で、コマツ、UD トラックス、スカニア、ボーマク、タダノ、コマツフォレストなどの世界的なブランドを扱う。1989年に上場。自動車販売会社のアストラ･インターナショナルの子会社である。インドネシア国内22州で展開しており、19支店、22のサポートセンター、11の駐在所から成る販売ネットワークを形成している。また、鉱山掘削請負も積極的に取り組んでおり、近年では炭鉱操業にも参入した。

同社事業は、建設機械事業、掘削請負事業、炭鉱事業、建設事業の4つの事業セグメントに分かれている。建設機械事業は、鉱業、プランテーション、建設業、林業、マテリアルハンドリング、運輸業など向けの重機を販売する。採掘請負事業では、子会社のPamapersada Nusantara（PAMA）を通じて鉱業サービスを提供する。PAMAは鉱山の設計から、探鉱、採掘、鉱山資源の運搬まで行う。炭鉱事業は、子会社のTuah Turangga Agung（TTA）の石炭鉱業事業を通じて展開している。現在、TTA は子会社の Asmin Bara Bronang（ABB）、Telen Orbit Prima（TOP）、Suprabari Mapanindo Mineral（SMM）によって管理されている。数多くの鉱山の採掘権を保有し、総石炭埋蔵量は4億トン、産出炭の品質は中位から高位である。建設事業は、子会社の Acset Indonusa（ACSET）を通じて行っている。

企業データ（2018/4/25）

ベータ値	1.24
時価総額（十億IDR）	136,523
企業価値=EV（十億IDR）	124,826
3ヵ月平均売買代金（十億IDR）	162.3



（出所：Bloombergをもとにフィリップ証券作成）

主要株主（2018/4）　（%）

1.PT ASTRA INTERNATIONAL TBK	59.50
2.FRANKLIN RESOURCES	2.01
3.MATTHEWS INTL CAPITAL MANAGEMENT	1.47

（出所:Bloombergをもとにフィリップ証券作成）

アナリスト

増渕 透吾

togo.masubuchi@phillip.co.jp

+81 3 3666 0707

庵原 浩樹

+81 3 3666 6980

hiroki.ihara@phillip.co.jp

【レポートにおける免責・注意事項】
本レポートの発行元：フィリップ証券株式会社 〒103―0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号
TEL:03-3666-2101 URL：http：//www.phillip.co.jp/
本レポートの作成者：フィリップ証券 リサーチ部 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員 庵原浩樹
公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員補 増渕 透吾

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

＜日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項＞
本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。